



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2017
9.30
No.39

【介護福祉経営士 活動レポート Vol.9】

社福・企業・行政から3人の介護福祉経営士が登場

地域包括ケアシステムにおける役割を再確認

第2回 全国介護福祉総合フェスティバル in 横浜



CONTENTS

介護福祉経営士
活動レポート Vol.9

社福・企業・行政から3人の
介護福祉経営士が登場
地域包括ケアシステムに
おける役割を再確認

2

●第2回「介護福祉のみらい」
作文コンクール
入選作品掲載 Vol.1

4

●合格者の声
●2017年度
「介護福祉経営士」
資格認定試験案内

5

●今月の「介護ビジョン」
●今月の書籍紹介

6

INFORMATION

7

イベント掲示板

8



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>

制作:株式会社日本医療企画

編集・発行人:林 諄

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地
もとみやビル3階

介護福祉経営士 活動レポート

Vol.9

社福・企業・行政から3人の介護福祉経営士が登壇

地域包括ケアシステムに おける役割を再確認

第2回 全国介護福祉総合フェスティバル in 横浜

「介護の状況を少しでも良い方に変えていきたい」

「社会全体で介護に取り組もう」との趣旨で、

「第2回全国介護福祉総合フェスティバル」が8月4日～5日に開催された。

今号では、社会福祉法人、民間企業、行政職員という立場の異なる3人の
介護福祉経営士が登壇した座談会の模様を紹介する。



司会を務めた齊木大氏

介護事業の継続を助けることこそが 介護福祉経営士の第一の任務

「地域社会における介護福祉経営士の役割」をテーマに、株式会社日本総合研究所創発戦略センターシニアマネジャー・齊木大氏を司会とし、神内秀之介氏（北海道支部・社会福祉法人手稲ロータス会 施設長）、皆川敬氏（北信越支部・サニーウインググループ代表）、吉本勝明氏（関西支部・滋賀県草津市役所総合政策部部長）が登場した。これからの介護福祉経営士のめざすべき方向と、地域包括ケアシステムのなかで担う役割について、約300人の聴衆に向かってメッセージを送った。

議論のなかで、市役所の総合政策部というまちづくりを進める立場に身を置く吉本氏が、「人口減少時代では地域団体の継続が難しくなる」と指摘。一方、「介護事業

において社福と企業のどちらに重きをおくべきなのか」という問いに対し、営利企業を経営する皆川氏が「介護保険という公的事業があるのだから、本来なら社福が主役を張るべき」、社会福祉法人に所属する神内氏が「社福は収益面で壁に突き当たることが多く、民間企業の役割は大きい」と相互にエールを送り、地域包括ケアシステムのなかで両者の役割分担が必要なことと、その役割分担の構図を描くことこそ、行政の役割であるとした。

また、登壇者の合意点として、地域における介護事業を継続させていくことこそがマネジメントの役割であり、その介護事業の継続を助けることこそが介護福祉経営士の第一の任務としたことも、印象的であった。



介護福祉経営士からのメッセージ

Message

介護の現場に必要な資格は、実務経験の積み重ねがないと取得できません。しかし、介護福祉経営士の受験には難しい要件はなく、間口の広い資格だと言えます。しかも、異業種の介護福祉経営士同士の交流も活発で、「つながり」も得やすい。是非多くの人に受験して欲しいし、既に資格を取得している人は、周囲の人に受験を勧めて欲しいと思います。



神内 秀之介氏



皆川 敬氏

私は4年前に介護福祉経営士の第1回2級試験を受験して合格しました。それをきっかけとして保険外のサービスなどにも目を向けるようになりました。その経験からすれば、企業・組織のマネジメント層になっていけば、介護福祉経営士という資格を取得することで身についたことが役に立ちます。

Message

Message

高齢の方でも住みよい社会をつくるうえで、多くの介護事業者が必要になりますし、それを助ける立場の人間も不可欠です。私は年齢を重ねてから、一念発起して、この資格を取得しましたが、必ず社会の役に立つ資格だと思っており、若い人たちにもチャレンジして欲しいと思います。



吉本 勝明氏



vol.1

入選作品掲載

第2回「介護福祉の未来」作文コンクール

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う中学生、高校生に、介護福祉の大切さを知り、未来について考える機会をもってもらうことを目的に第2回「介護福祉の未来」作文コンクールを実施しました。黒澤貞夫審査委員長（一般社団法人介護福祉指導教育推進機構代表理事）のもと、厳正な審査を経て選ばれた作品を今号より掲載します。

高校生の部 最優秀賞

体験を通して

私は神埼清明で福祉を学んでいます。今までに五回ほど介護実習に行かせて頂きました。その実習で体験させて頂いて感じたことがあります。それは、コミュニケーションの大切さです。

一年生の時、初めて行かせて頂いた実習では利用者の方と何を話せばいいのかわからずその場に立ち尽くしていたことがありました。名前も覚えられず、挨拶もできなかった私はまず朝元気に挨拶をすることから始めてみようと思いました。挨拶をすると暖かく返事を返していただきました。それからは名前を覚えることが出来、自分から話しかけていくことが出来るようになりました。それからの実習では挨拶を心がけ、コミュニケーションをとることで信頼にもつながっていくのだと感じました。

二年生の時に障害者施設に実習に行かせて頂いたことがありました。言葉が通じなかったり、通じるが聞き取れなかったりと分からないことばかりでした。ですが職員の方に言葉だけがコミュニケーションじゃないと教えてくださいました。手を握ってもらい、「はい」だったら力を入れ、「いいえ」だったらなにもしない、や瞬きなどで質問に答えてもらうなど、様々なコミュニケーションを取る方法がありました。笑顔でコミュニケーションをとると、普段は実習生に食事介助はさせてもらえない利用者のかたから、信頼をしていただき「食事介助をしていいよ」と言ってくださいました。このようにコミュニケーションをとっていくと普段はこの職

西矢 優香さん(佐賀県立神埼清明高等学校 総合学科3年)

員には介助をしてほしくないなと考えている利用者の方から信頼を得ると介助をしてほしいと考えが変わると思います。

三年生の夏休みの実習ではICFに基づいて担当の利用者の方のケアプランを作成します。コミュニケーションを通して普段の生活や、希望などを聞き出し良いケアプランが作成できるというなと思います。

普段福祉を学ぶ上で考えることは、学校で学んだユニバーサルデザイン「UD」がもっとたくさんの人に広まってほしいということです。なぜかというと、ユニバーサルデザインが広まれば、高齢者の方、障害を持っている方、そうでない方世界の全ての人々が生きやすい世の中になると思うからです。「UD」と言ってもほとんどの人が頭をかしげると思います。もっとたくさんの人に広まるように私たちが積極的に活動をしていきたいと思いました。今までにユニバーサルデザインを広めるため地域の小学生に楽しく分かりやすく、ユニバーサルデザインを教えました。スタンプラリー形式にして、学校内のユニバーサルデザインを体験していく活動です。この活動は佐賀新聞に載せていただきました。このように活動して新聞に載せていただく多くの人に広まると思います。

福祉を学んで考えたり感じたりすることはたくさんあります。将来介護福祉士になるために頑張ります。

中学生の部 最優秀賞

今の介護に必要なもの

今日、日本では少子高齢化が急激に進んでいる。最近、介護や社会福祉に関する内容も、多く取り上げられるようになった。国民の関心が介護福祉に向けられる一方で、私は沢山の人が大切な事を見失っているように思える。

介護福祉に関する問題は山積みである。

例えば、介護施設での介護士による暴言や暴力が問題となっている。事件の原因として、劣悪な環境下での長時間労働にも関わらず、低賃金であることが挙げられる。そのような実態があるからこそ、介護士を志望する人が少なくなり、人手が足りなくなる。それが長時間労働につながるという負のスパイラルに陥っている。

私は、よりよい社会を作るためにも、二つのことが必要であると考えている。

一つは、介護施設の設備や環境を整え、介護士の労働環境を改善することである。

具体的には、労働時間の短縮、賃金の引き上げなどを早急に行うべきである。介護士の労働環境の改善が、介護の質を上げることにつながり、新たな介護士の育成にもつながると思う。

そしてもう一つは、介護福祉についてよく知ることである。

富田 梨湖さん(洗足学園中学高等学校3年)

メディアを通して伝えられる情報は、一部を切り取ったものにすぎない。だからこそ、私は多くの人に現実を見てほしいと思う。実際に介護をしている現場を見ることで、本当の現実を知ることができる。

私も実際、祖母が祖父の介護をしている現場を見た。メディアを通して見るよりも、苦労や大変さを身にしみて感じた。けれど、その中には苦労だけでなく、「優しさ」も感じられた。実際に見ることで、本当の介護の現実が少し分かった気がした。

介護をするにおいて、「優しさ」が重要なのだと私は思う。相手に真心を持って接し、介護をする。難しいことではあるかもしれないが、それが欠けてしまえば、介護は成り立たない。

私は、そのことを多くの人に意識してほしい。介護の現場を見る機会は沢山ある。そこから学ばされることもある。そのような経験を通して、介護をするにおいて本当に大切なことを分かってほしいと思う。

今後も、介護や社会福祉に関する問題は出てくるかもしれない。だが、一つずつ着実に解決していけば、よりよい社会が築けるだろう。

これからの社会が、今より少しでも良いものになることを強く望む。

介護福祉経営士の役割を担い、 理想の職場づくりを目指す



中村 浩也 ●なかもら・ひろや

社会福祉法人伊野福祉会
小規模多機能型居宅介護事業所壽幸園
介護福祉経営士2級

生活の質向上とともに 適正な利益確保も大事な役割

今、私は小規模多機能型居宅介護事業所でケアマネジャーとして勤務しています。以前就いていた仕事での出来事がきっかけとなり、今の仕事を選んだのですが、そのきっかけというのが高齢の方にご迷惑をかけてしまったのです。そのときご迷惑をかけた分、次は高齢者を笑顔にする仕事にチャレンジしたいと思ったことで決意しました。

ケアマネジャーとして、ご利用者様の生活の質を向上させていくことは私の大事な役割ですが、同時に事業所を運営していく上で適正な利益を確保していくことも同じく大事な役割です。目標としていた収益が達成できたときには、喜び、やりがいというよりも、義務を果たすことができた安堵を覚えます。

3つの課題を解決するために 介護福祉経営士の受験を決意

「人財」という言葉を良く耳にしますが、モラル的な意味合いが先行し、本質的な部分が業界としてまだまだ認識されていないのではないかと以前より感じておりました。利益率の低いこの業界においては経営上、人件費の抑制が重要な要素になりますが、慢性的な人材不足となっている現場と経営側との認識のズレがあり、そのために職員が定着しない負のスパイラルに業界全体が陥っていると考えます。自己負担割合3割が導入されたことを考えても、今後ご利用者様やご家族からサービスの質に対して要求が高まっていくことは必然ですが、質の向上も人材をより投入することが一番の近道になります。ごく一部にはそういったことを成し得る事業所もあるかと思いますが、多くは採用不可能な現

実があります。そのなかで、人件費の抑制、人材不足、質の向上という3つの課題を解決していくには、最低限の人材投入で最大限の効果を発揮していくことが必要になります。職員のモチベーションの維持等も重要ですが、しっかりした仕組み作りも重要です。その仕組みの部分で、介護福祉経営士を取得することで身につけたいと思ったことが受験を決意した理由です。

試験勉強は、とにかく時間を確保することです。残業等もあり、全く勉強のできない日もありましたが、休みの日には5～6時間は勉強していたように思います。また経営戦略に関する知識が乏しかったもので、しっかり身につけたいという気持ちもあり、知識のない私でも理解できる内容の専門書で理解を深めました。

最低限の人材投入で 最大限の効果の発揮を目指す

今後は、最低限の人材投入で最大限の効果を発揮できる職場作りを目指したいと考えています。そのためには職場の分析が重要です。また、介護福祉経営士として分析業務は担いながらも、進むべき道筋は全職員で話し合い決定していけるような職場が理想です。そういったことがモチベーションの向上にもつながりますし、職員の定着率の改善にもつながっていくと考えています。

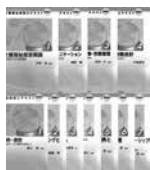
私の所属している小規模多機能型居宅介護事業所は柔軟な対応ができることが特徴ですが、そのなかでもできること、できないことの線引きをしっかりと行いながらも、営業圏域の介護ニーズにしっかり対応していき、ご利用者様やご家族、行政機関等とWIN-WINの関係作りができるようにしていきたいと思っています。

介護福祉経営士テキスト&試験対策講座のご案内

介護福祉
経営士テキスト
のご案内

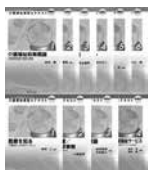
介護福祉経営士
1級試験 準拠

実践編
全11巻
セット価格:
25,710円(税込)



介護福祉経営士
2級試験 準拠

基礎編
全10巻
セット価格:
23,660円(税込)



「介護福祉経営士2級」 資格認定試験対策講座

本講座はテキスト基礎編に準拠した2級の試験対策として、政策・制度・産業論など介護経営のベースとして欠かせない知識を学べます

東京、札幌会場
10/22(日)開催!
福岡会場
10/7(土)開催!

いまなら「介護福祉経営士2級資格認定試験—合格サポートブック—」がもらえる!!

テキスト・講座のお申し込み、お問い合わせは
株式会社日本医療企画ホームページへ▶<http://www.jmp.co.jp/>

注目の!

特集

介護の原点 自立支援介護が拓く未来

現行の介護報酬の仕組みは、要介護度が重いほど診療報酬が上がり、要介護度が軽くなると診療報酬は減額される。2018年度の介護報酬改定では、要介護度が改善すれば報酬が上がる新たな仕組みもできる見込みだ。自立性を取り戻す自立支援介護を行うことで、介護職の専門性はより必要と認識されるだろう。本特集では自立支援に向けた取り組みとその未来を追う。

「Message For The Future」は武見敬三氏(参議院自民党政策審議会議長)。「アジア健康構想」によりアジアの介護に循環型労働市場創出をめざす。



2017年10月号
(2017年9月20日発売)

詳しくは [介護ビジョン](#) 検索

- 毎月20日発行
- 定価: 1,296円(税込)
- 定期購読料: 15,552円(税込)

今月の
書籍紹介

財政破綻に備える 次なる医療介護福祉改革

最悪の事態を回避するために 医療介護福祉経営者、必読!

財政破綻で未収金が積み上がれば
診療・介護報酬大幅カットの可能性も!

財政破綻に対する関心が高まっている。現在進められている医療改革の目標年である2025年頃までに財政破綻が起き、医療制度のみならず社会保障制度全体が崩壊するのではないかと真剣に考える人が増えているのである。今こそ、医療介護福祉の真実と向き合い、次なる一手を打つべき時!

本書では、医療介護福祉制度における財政破綻時の緊急対応策と、その後の財源確保に役立つ仕組みを提言する。



好評
発売中

松山 幸弘 著
(一般財団法人キヤノングローバル
戦略研究所研究主幹、経済学博士)

- 定価: 2,700円(本体価格2,500円+税)
- 体裁: A5判/144ページ
- ISBN: 978-4-86439-609-7

INFORMATION

理事会、支部、事務局からのお知らせをお伝えします

第2回 全国介護福祉総合フェスティバル in YOKOHAMA

閉幕のお知らせと御礼

このたび全国介護福祉総合フェスティバルin YOKOHAMAの開催にあたりまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまをもちまして2,000名を超える方々にご参加をいただき盛会のうちに無事に閉幕することができました。

ご来場いただいた皆様、趣旨に賛同いただいた協賛企業・後援団体の皆様に心より感謝申し上げます。

フェスティバルは、「横浜・介護文化創造宣言」を行い幕を閉じました。その全文を以下に掲載いたします。

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

横浜・介護文化創造宣言



超高齢社会が進行する今日、わが国の介護・医療の現状はきわめて厳しい状況に置かれています。介護に起因する人間関係の分断や崩壊の拡散が日増しに深刻化し、人間愛や福祉理念の喪失が憂慮されています。

人々の価値観や意識は国民の文化を形成するものであり、その時代を生きる人々が創り出していくものです。人類がこれまで経験したことのない超高齢社会を生きる私たちには、今こそ「新しい介護文化」を創造することが求められています。

高齢や障がいのために、たとえ誰かの支援を受けることになったとしても、最期の時まで自分らしく生き抜くことができる社会を追求していくことにより、「新しい介護文化」を国民挙げて創り出していかなばなりません。

われわれは、失われつつある家族と地域社会の絆を強めるためにも、ここに個人の「生命の尊厳」をベースに「愛と心の介護」を皆で育み、ともに支え合う「新しい介護文化」の創造に向けて邁進することを宣言します。

2017年8月5日

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを、支部の研究会を中心に紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

北海道支部

“惑星直列”観察ツアー

2018年度には介護報酬・診療報酬の同時改定や医療費適正化計画などが控えており、“惑星直列”と呼ばれている。多くの情報が行き交うなか、勉強会を通じて毎月動向を観察し、重要事項を共有する。

- 日時: 2017年10月27日(金)、11月24日(金)、12月22日(金)、2018年1月26日(金)、2月23日(金)、3月23日(金) 各回18:30~20:00
- 講師: 神内秀之介氏 (NB lab代表、介護福祉経営士)
- 会場: 日本医療企画北海道支社セミナールーム (北海道札幌市中央区南1条西6-15-1 札幌おおばビル201)
- 受講料: 協会会員(各回)1,000円、一般(各回)1,500円※資料代、税込
- 定員: 30名
- 共催: 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会北海道支部、一般社団法人日本医療経営実践協会北海道支部、一般社団法人日本栄養経営実践協会北海道支部

お問い合わせ 日本介護福祉経営人材教育協会 北海道支部
(株式会社日本医療企画 北海道支社 内)
TEL.011-223-5125

東海支部

医療経営士・介護福祉経営士 合同セミナー 坪ゼミ 医療・介護現場の問題解決

関西支部で好評を博したゼミが名古屋で開催決定! 科学的な考え方・手法は、問題再発を防ぎ仕事の効率を上げ、現場改善にチカラを発揮する。本ゼミでは仕事の質を向上させるための基本を学ぶ。

- 日時: 2017年10月28日(土)、11月25日(土)、12月16日(土)、2018年1月20日(土) 各回14:00~17:00※1日ずつ受講可
- 講師: 坪茂典氏 (社会医療法人愛仁会高槻地区事業統括部長、社会福祉法人愛和会本部統括部長)
- 会場: 株式会社日本医療企画中部支社 (愛知県名古屋市中区栄2-12-12 アーク栄白川パークビル3階)
- 受講料: 協会会員(全4回)10,000円(各回)3,000円、一般(全4回)15,000円(各回)4,000円※税込
- 定員: 50名(先着順)
※開催最少人数に満たない場合は中止とさせていただきます。
- 共催: 株式会社日本医療企画

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 中部支社
TEL.052-209-5451

日本栄養経営実践協会 関東支部

注目の新提案! 給食改革セミナー

給食の品質を向上しながら収益を改善させるには? 「施設経営に貢献する食のあり方」に関する栄養経営士の講義に加え、給食改革に活用できる献立ソフト&調理器を紹介し、これからの給食のあり方について考える。

- 日時: 2017年10月27日(金) 13:30~16:30
- 講師: 大久保陽子氏 (社会福祉法人北野会特別養護老人ホームマイライフ徳丸 管理栄養士・日本栄養経営実践協会関東支部理事) 西山猛司氏(株式会社アース)
- 会場: 株式会社AIHO東京支店(東京都練馬区豊玉南3-11-3)
- 受講料: 無料
- 主催: 株式会社AIHO



お問い合わせ 日本栄養経営実践協会 関東支部
(株式会社日本医療企画 関東支社 内)
TEL.03-3256-2885

日本医療企画

「介護福祉経営士2級」資格認定試験 試験対策講座

11月12日に実施される第14回「介護福祉経営士2級」資格認定試験に向けた対策講座を各地で開催。試験に準拠した重点項目や押さえるべきポイントをわかりやすく解説する。

- 札幌会場:
日時: 2017年10月22日(日) 10:00~12:20
会場: 日本医療企画北海道支社セミナールーム (北海道札幌市中央区南1条西6-15-1 札幌おおばビル201)
受講料7,000円※税込
お問い合わせ: 株式会社日本医療企画 北海道支社 TEL.011-223-5125
- 東京会場
日時: 2017年10月22日(日) 9:30~17:30
会場: 日本医療企画本社5F (東京都千代田区神田岩本町4-14神田平成ビル)
受講料: 15,000円※税込
お問い合わせ: 株式会社日本医療企画 関東支社 TEL.03-3256-2885
- 福岡会場
日時: 2017年10月7日(土) 10:00~17:00
会場: 日本医療企画九州支社 (福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-6第三博多借成ビル503)
受講料: 15,000円※税込
お問い合わせ: 株式会社日本医療企画 九州支社 TEL.092-418-2828
- 主催: 株式会社日本医療企画

全国ノーリフティング推進協会

第4回全国大会

Safe Work Practice (オーストラリア) からリサ・ハーマン氏を迎えノーリフティングポリシーに関する講演のほか、会員法人の演題発表や福祉機器展など、充実した内容で実施する。

- 日時: 2017年11月10日(金) 10:30~15:45
- 会場: i-ビル7Fシビックホール(愛知県一宮市栄三丁目1番2号)
- 参加費: 一般5,000円※昼食代1,000円(希望者のみ)
- 懇親会: 一般7,000円
- 申込方法:
①協会webサイト(<http://nolifting-suishin.com>)より参加申込書をダウンロードし記入の上、2017年10月20日(金)までにメールまたはFAXにて事務局まで送信ください。
②参加費(十食代+懇親会)を指定の銀行口座までお振込みください。
(振込期限2017年11月2日(木))
- 後援: 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 他

お問い合わせ 一般社団法人全国ノーリフティング推進協会 事務局
(申込先) TEL.052-856-0611
FAX.052-856-3355
info@nolifting-suishin.com

日本医療企画

アジア健康構想が拓く日本・アジア介護事業の未来

「アジア健康構想」の発案者である武見敬三参議院議員の講演をはじめ、介護・医療・ヘルスケアの成長産業化の道筋を示す。

- 日時: 2017年10月16日(月) 18:00~21:00
- 内容:
【調査報告】「アジア健康構想」実現に向けた調査報告について
今中英二氏(株式会社ウエルビー・介護福祉経営士2級)
【講演1】「アジア健康構想」が目指す未来
武見敬三氏(参議院議員)
【講演2】介護事業者の海外展開支援
藤本康二氏(内閣官房健康・医療戦略室次長)
【シンポジウム】「アジア健康構想」の実現のために介護・医療事業者は何をすべきか?
座長: 青木正人氏(株式会社ウエルビー代表取締役)
- 会場: 日本医療企画もとみやセミナールーム (東京都千代田区神田東松下町17番地もとみやビル3階)
- 参加費: 協会会員3,000円、『介護ビジョン』定期購読者6,000円、一般9,000円
- 定員: 70名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます
- 主催: 株式会社日本医療企画
- 共催: 株式会社ウエルビー
- 後援: 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会、一般社団法人日本医療経営実践協会

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 セミナー事務局
TEL.03-3256-2885